

平成16年 春季賃上げ 要求・妥結状況調査（最終集計）

当課では、県内に事業所をおき労働組合のある企業300社（従業員数300人以上の大手150社、300人未満の中小150社）を対象として、毎年、春季賃上げの要求・妥結状況調査を実施している。

調査対象企業のうち、回答のあった210社について集計を行った結果は次のとおりである。（集計は、平成16年12月20日現在）

1 平均要求額

（1）平均要求額は、5,639円となっている。

（2）要求額が最も高いのは、医療・福祉で13,967円、次いで情報通信業13,440円、輸送用機械器具業7,894円の順となっている。

逆に、最も低いのは、木材・家具業で1,983円、次いで飲食店、宿泊業2,899円、ゴム・皮革業3,140円の順となっている。

（3）規模別にみると、大手116社の平均要求額は5,307円となっている。一方、中小94社の平均要求額は6,042円となっている。

2 平均受結額

- (1) 平均受結額は、3,102円、賃上げ率は1.21%となっている。
前年(平均受結額3,344円、賃上げ率1.28%)と比べると、受結額、賃上げ率ともに前年を下回っている。
- (2) 受結額が最も高いのは、情報通信業で5,507円、次いで飲食店、宿泊業4,774円、サービス業4,504円の順となっている。
逆に、最も低いのは、木材・家具業で1,450円、次いで運輸業1,707円、建設業1,924円の順となっている。
- (3) 賃上げ率が最も高いのは、飲食店、宿泊業で2.28%、次いで繊維・衣服業1.77%、サービス業1.67%の順となっている。
逆に、最も低いのは、建設業で0.70%、次いで運輸業0.73%、教育、学習支援業0.75%の順となっている。
- (4) 規模別にみると、大手116社の平均受結額は3,264円、賃上げ率1.23%で、前年(平均受結額3,731円、賃上げ率1.37%)と比べると、受結額、賃上げ率とも前年を下回っている。
また、中小94社の平均受結額は2,901円、賃上げ率1.18%で、前年(平均受結額2,885円、賃上げ率1.17%)と比べると、受結額、賃上げ率とも前年を上回っている。
受結額を比較すると、大手が中小を上回っており、その差は363円となっている。
- (5) 地区別にみると、受結額は高い方から北九州、筑後、福岡、筑豊の順となっている。
大手では北九州、福岡、筑後、筑豊の順となっているが、中小では筑豊、筑後、福岡、北九州の順となっている。